

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月11日

上場会社名 株式会社セレス 上場取引所 東
 コード番号 3696 URL <https://ceres-inc.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 都木 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼 管理本部長 (氏名) 小林 保裕 TEL 03-5797-3347
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	6,467	40.5	1,920	228.4	1,049	109.3	1,852	262.5	1,339	342.3
2020年12月期第1四半期	4,605	13.4	584	121.8	501	127.3	511	170.5	302	119.2

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 1,322百万円 (258.6%) 2020年12月期第1四半期 368百万円 (87.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	121.80	117.40
2020年12月期第1四半期	27.36	27.02

※EBITDA=税金等調整前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費（持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算）+減損損失

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	17,203	8,215	44.0
2020年12月期	16,227	7,091	40.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 7,573百万円 2020年12月期 6,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	17.7	3,000	47.6	2,000	33.6	2,600	43.2	1,600	114.9	145.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	11,562,000株	2020年12月期	11,562,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	565,396株	2020年12月期	565,396株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	10,996,604株	2020年12月期 1 Q	11,069,417株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年1月1日~2021年3月31日)におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、企業収益の大幅な減少や雇用環境の悪化など経済活動が停滞しており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社は「インターネットマーケティングを通じて豊かな世界を実現する」という企業理念のもと、「自社の運営するメディアの利用価値を最大化する」というミッションを実現することを目指しております。

当第1四半期連結累計期間においては、売上面では、当社グループが運営するポイントサイト「モッピー」で幅広い業種の広告需要の取込み及び会員数の増加により過去最高四半期売上高を更新しました。また、当社の運営するポイントサイト以外の各種メディアにおいて、美容商材等分野のECに関する広告の取扱いが好調に推移しました。

利益面では、増収効果に加えて、「モッピー」において広告単価の上昇が寄与しました。関係会社においては、連結子会社である株式会社ゆめみが取引先企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)ニーズの高まりによる増収やエンジニア稼働率の改善により大幅な増益となり、また持分法適用関連会社であるビットバンク株式会社も暗号資産市場の取引活性化を背景とした好業績により大きく利益貢献しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,467百万円(前年同期比40.5%増)、営業利益は1,049百万円(同109.3%増)、経常利益は1,852百万円(同262.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,339百万円(同342.3%増)となりました。

また、当社グループの経営指標として重視しているEBITDAは1,920百万円(前年同期比228.4%増)となりました。なお、当社グループのEBITDAは税金等調整前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算)+減損損失で算出しております。

新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの業績への影響は、現時点においては軽微であり、固定資産の減損会計等その前提にて会計上の見積りを行っております。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業展開、経営資源配分、経営管理体制の実態などの観点から、報告セグメントの区分方法を見直し、従来、「モバイルサービス事業」に含めていた、「資金調達プロ」の事業を「フィナンシャルサービス事業」に含める変更をしております。当報告セグメント区分の変更により、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

モバイルサービス事業

モバイルサービス事業は、日本最大級のポイントサイトである「モッピー」に加え、自社アフィリエイトプログラム「AD.TRACK」やポイントサイト以外の各種コンテンツメディアの運営、及び企業のDX化支援を手がける連結子会社「ゆめみ」で構成されております。

「モッピー」においては、ポイ活トレンドや巣ごもり消費増加等の外部環境の変化を好機として会員数増加ペースが加速し、当第1四半期連結会計期間末の会員数は313万人(前年同期比25.2%増)となりました。また、幅広い業種の広告出稿の増加、各種キャンペーンの実施等、継続的なサイトの改良も行っておりまいりました。

「AD.TRACK」においては、自社メディアの媒体力の活用やクライアントの新規開拓等に加えて、インフルエンサーマーケティングへの取り組みなどの施策により、利益率が改善しました。

コンテンツメディアにおいては、マーケット変化に対応した記事広告型メディアの好調やD2C事業の立ち上がり業績に寄与しました。

「ゆめみ」においては、リモートワーク推奨による一部オフィス解約などのコスト削減効果に加えて、案件への継続的関与を行う準委任・運用・保守比率の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるモバイルサービス事業の売上高は6,078百万円(前年同期比35.5%増)、セグメント利益は1,231百万円(同78.5%増)となりました。

フィナンシャルサービス事業

フィナンシャルサービス事業は、ブロックチェーン関連事業、オンラインファクタリングサービス事業、投資リターンを得ることを目的とした投資育成事業を行っております。

ブロックチェーン関連事業においては、100%子会社である株式会社マーキュリーへの投資を継続し、2021年3月15日付で暗号資産販売所「CoinTrade」を開業しました。また、オンラインファクタリングサービス事業としてフリーランス向け資金調達支援フィンテックサービス「nugget（ナゲット）」にも引き続き投資をしております。さらに投資育成事業では、継続保有していた一部有価証券についてはリターン確保の観点から売却いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるフィナンシャルサービス事業の売上高は416百万円（前年同期比236.5%増）、セグメント利益は59百万円（前年同期は3百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の額は、前連結会計年度末に比べ976百万円増加し、17,203百万円となりました。これは主に売上の増加により受取手形及び売掛金が698百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における総負債の額は、前連結会計年度末に比べ147百万円減少し、8,987百万円となりました。これは主に長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む。）が245百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,124百万円増加し、8,215百万円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い1,339百万円増加した一方、配当金の支払いにより197百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期の連結業績予想につきましては、「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」（2021年2月12日公表）で発表いたしました内容から変更はございません。

なお、当第1四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響は、現時点においては軽微ではありますが、今後業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに発表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,087,657	5,685,524
受取手形及び売掛金	2,778,802	3,477,359
営業投資有価証券	1,804,861	1,843,749
商品及び製品	28,428	14,039
仕掛品	65,843	142,619
原材料及び貯蔵品	164,663	152,791
その他	587,074	667,159
流動資産合計	11,517,331	11,983,244
固定資産		
有形固定資産	296,288	279,110
無形固定資産		
のれん	938,574	911,124
その他	457,409	489,290
無形固定資産合計	1,395,983	1,400,415
投資その他の資産		
関係会社株式	872,903	1,442,678
その他	2,154,452	2,104,835
貸倒引当金	△9,951	△6,871
投資その他の資産合計	3,017,403	3,540,642
固定資産合計	4,709,675	5,220,168
資産合計	16,227,007	17,203,412
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,024,020	846,037
短期借入金	1,300,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	973,862	950,237
未払法人税等	607,273	506,049
ポイント引当金	1,693,881	1,981,329
役員賞与引当金	30,000	-
賞与引当金	-	11,131
その他	1,842,588	1,684,133
流動負債合計	7,471,625	7,678,919
固定負債		
社債	315,000	185,000
長期借入金	1,228,653	1,006,349
資産除去債務	70,809	70,816
その他	49,466	46,810
固定負債合計	1,663,929	1,308,976
負債合計	9,135,555	8,987,896

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,857,521	1,857,521
資本剰余金	2,378,976	2,378,976
利益剰余金	2,321,662	3,463,158
自己株式	△307,778	△307,778
株主資本合計	6,250,380	7,391,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,410	181,700
その他の包括利益累計額合計	260,410	181,700
新株予約権	4,373	4,373
非支配株主持分	576,286	637,565
純資産合計	7,091,451	8,215,516
負債純資産合計	16,227,007	17,203,412

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	4,605,155	6,467,976
売上原価	3,291,172	3,886,624
売上総利益	1,313,983	2,581,352
販売費及び一般管理費	812,666	1,532,133
営業利益	501,317	1,049,218
営業外収益		
受取利息	1,967	2,253
投資有価証券売却益	-	41,156
持分法による投資利益	15,784	569,775
その他	7,758	197,017
営業外収益合計	25,510	810,202
営業外費用		
支払利息	3,365	3,969
投資事業組合運用損	7,814	-
租税公課	93	1,400
その他	4,333	1,120
営業外費用合計	15,607	6,490
経常利益	511,220	1,852,930
特別利益		
新株予約権戻入益	3,120	-
事務所閉鎖費用戻入益	-	2,662
特別利益合計	3,120	2,662
特別損失		
減損損失	-	19,414
固定資産売却損	-	4,098
その他	-	1,322
特別損失合計	-	24,835
税金等調整前四半期純利益	514,340	1,830,757
法人税、住民税及び事業税	209,021	480,612
法人税等調整額	△29,278	△50,568
法人税等合計	179,742	430,043
四半期純利益	334,597	1,400,713
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,739	61,278
親会社株主に帰属する四半期純利益	302,858	1,339,435

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	334,597	1,400,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,013	△78,710
その他の包括利益合計	34,013	△78,710
四半期包括利益	368,611	1,322,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,871	1,260,724
非支配株主に係る四半期包括利益	31,739	61,278

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの業績への影響は、現時点においては軽微ではあり、固定資産の減損会計等その前提にて会計上の見積りを行っております。

ただし、今後、新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の変化により、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,482,823	122,332	4,605,155	-	4,605,155
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,530	1,580	6,110	△6,110	-
計	4,487,353	123,912	4,611,265	△6,110	4,605,155
セグメント利益	690,146	3,259	693,406	△192,089	501,317

(注) 1. セグメント利益の調整額△192,089千円は、セグメント間取引消去△1,359千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△190,730千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,051,107	416,869	6,467,976	-	6,467,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,816	120	27,936	△27,936	-
計	6,078,923	416,989	6,495,913	△27,936	6,467,976
セグメント利益	1,231,744	59,909	1,291,654	△242,435	1,049,218

(注) 1. セグメント利益の調整額△242,435千円は、セグメント間取引消去△14,173千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△228,261千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業展開、経営資源配分、経営管理体制の実態などの観点から、報告セグメントの区分方法を見直し、従来「モバイルサービス事業」に含めていた、「資金調達プロ」の事業を「フィナンシャルサービス事業」に含める変更をしております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルサービス事業」において、当社の子会社である株式会社ゆめみのオフィスの一部解約により19,414千円の減損損失を計上しております。